

Your  
Times

vol. 25

2026年5月発行


 の く ち ゆ た か  
 工事管理部 野口 豊

事務職から40歳手前で建築業界へ飛び込み、工事管理部で設計業務を担う野口豊。お客様の家づくりにどう向き合い、どのような目標に向けて歩みを進めているのか、日々の仕事の姿勢に迫る。

 子どもに誇れる、  
 形に残る仕事を目指して

20歳から十数年、経理などの事務職に従事していた野口は、40歳を前に転機を迎えた。元々パソコンを使った作業が好きだったことから、図面を描くCADソフトを使った仕事に興味を抱いたのである。

さらに、自身の子どもに対し「お父さんが設計した家だ」と説明できるような、目に見える形として残る仕事を手がけたいという思いも重なった。職業訓練校で半年間をかけて学び、2015年に未経験

験から設計の道を歩み始めた。

 対話の中で  
 形を創り上げる面白さ

実務経験を重ねた後、信託ホームへ入社した。現在は工事管理部に所属し、建売住宅から注文住宅まで設計業務全般を担当している。

なかでも、お客様と直接顔を合わせる注文住宅の打ち合わせでは、野口の細やかな対話術が活きている。建築の専門知識を持たないお客様は、「柵を付けたい」といった希望があっても、具体的な寸法まではイメージしていないことが多い。細かな条件を尋ねて困惑させないよう、内観パースを用いて視覚的なイメージを提示し、認識のずれを防ぎながら要望を形にしていくな。

さらに間取りの変更要望などが

出た際には、希望を予算内に収めることと、法律の基準をクリアすることを頭の中で同時進行で組み立てる。持ち帰って調べるようなことはせず、その場で要望に伴うデメリットも的確に伝えながら最適解を探っていく。お客様の理想と、現実的な予算やルールを対話の中で一つひとつすり合わせ、図面へと落とし込む過程に面白さを感じている。

## 苦い経験から学んだ、 お客様への寄り添い方

過去の打ち合わせで、電気図面の変更は後からでもできると安易に伝えてしまったことがある。変更可能な期限を明確に示していなかった自身の落ち度により、すでに工事が終盤に差し掛かった段階でコメント追加の要望をいただくことになった。結果として、足

場を組んで対応するという大がかりな作業を招いてしまった。この経験を教訓とし、現在は図面変更の期限を定めた表を契約前に必ずお渡しし、打ち合わせの記録も詳細に残すよう徹底している。

また別の機会にも、自身の認識の甘さを痛感する出来事があった。

「信託ホームさんにとっては何十棟あるうちの1棟かもしれないが、私たちにとっては一生に一度の大きな買い物なので、もっとしっかりと対応してほしい」。

お客様からいただいたこの言葉に、野口は大きなショックを受けた。決してないがしろにしたつもりはなかったが、そのように映ってしまったのだと真摯に受け止め、目の前のお客様に集中するよう意識を根本から変えた。打ち合わせ前には過去のやり取りを必ず復習して専用の資料を準備し、目

の前の家づくりに専念していることを示すため、「別のお客様の話はできるだけ出さない」という独自のルールも課している。

自らの失敗や厳しい言葉を成長材料に、家づくりの伴走者としてお客様に寄り添う現在の確固たるスタイルを築き上げたのだ。

## 二級建築士の取得と、 未来のチーム作りへ

現在、二級建築士の資格取得という数年来の目標に向けて、日々の業務と並行して勉強に励む。毎週日曜の朝や平日の夜に資格取得のための学校へ通い、多忙な合間を縫って宿題や過去問題に取り組み毎日だ。過去の受験でわずか1点足りず悔しい思いをした経験をバネに、会社の協力も得ながら挑戦を重ねている。

建築の法律も毎年変わり、新し

い住宅仕様も出てくるため、常に新しい情報を積極的に得る努力も怠らない。資格取得後は有資格の設計士として、さらに責任ある立場を担っていく覚悟だ。現在、社内設計を担当しているのは野口ただ一人だが、自身のスキルアップを果たした先には、部下とのコミュニケーションを深め、チームとして設計部門を盛り立てていくという未来を描いている。

異業種から建築業界へ移り、失敗を教訓に行動を変えてきた。目の前のお客様に向き合いながら、野口は今日も図面を描き続ける。

# 私の周りの「すごい！」人たち ～尊敬と感謝のバトン～

社員が尊敬する人物を紹介する本企画。今回は特販課の寺崎さんと、保育所ちびっこランド福住園の市原さんにお話を伺いました。圧倒的な影響力を持つ上司や、温かさやアイデアで現場を支える同僚など、周囲に良い影響を与える社員の魅力に迫ります！



特販課  
てらさき あゆむ  
寺崎 歩さん

## すごいと感じる社員

常務

たけだ りゅうのすけ

武田 龍之介 さん

約10年前に入社し、現在は常務として会社を牽引されています。直属の上司ではありませんが、経営に携わり社員をバックアップしてくださる、周囲に良い影響を与え続けている方です。

## 武田さんのココがすごい！

### 前向きにしてくれる話し方

特に尊敬しているのは、相手を惹きつける話し方と対応の早さです。会議でも全員が前向きになれる雰囲気を作り、仕事の相談時の判断や対応も迅速です。話を真摯に受け止めてくださるため信頼でき、お話するたびに「自分も頑張ろう」と前向きになります。

### いつまでも忘れない学ぶ姿勢

役職に関係なく、わからないことは納得のいくまで確認するなど、学び続ける姿勢も尊敬しています。「ずっとわからないままの方が恥ずかしい」という言葉に深く共感しました。さらに、ご自身が本から知識を得た経験から、会社に小さな図書館のような仕組みも確立。社員のおすすめの本を会社で購入し、皆が学べる場を作った行動力は素晴らしいと感じます。

## 日々の業務への影響

特販課で営業を担当し、お客様と接する機会が多い私にとって、常務の姿は大きな刺激です。惹きつける話し方や相手の意図を受け入れる姿勢を大いに見習っています。日常業務で忘れがちな「営業としてあるべき姿」を、常務とお話するたびに思い出させてもらっています。

## 感謝のメッセージ

これまで自分なりに営業活動を行ってききましたが、常務のアドバイスにより、お客様対応の視野が大きく広がりました。多くの学びを与え、成長のきっかけをくださったことに深く感謝しています。これからも常務の姿勢から多くを学び、自身の営業活動やお客様への対応にしっかり活かしていきたいです。



## すごいと感じる社員

保育所ちびっこランド福住園 副主任

くどう あさみ  
**工藤 麻美 さん**

当園が開園して8年目になりますが、今や正職員として残っているオープニングスタッフは、私と工藤さんの2人だけになりました。何もないところから一緒に園を立ち上げ、ずっと共に歩んできたこともあり、悩んだときは一番に相談したくなる存在です。



保育所ちびっこランド福住園 主任  
いちばら りさ  
**市原 梨沙 さん**

## 工藤さんのココがすごい!

### 母親目線の柔軟なアドバイス

いつもさまざまな視点から答えをくれるため、とても頼りにしています。また、少し天然なところがある愛されキャラで、皆から慕われるお母さんのような存在でもあります。

### 日々の業務への影響

私はつい厳しく指導しがちですが、工藤さんは子どもの気持ちを代弁しながら、柔らかい口調で諭すように接しています。子どもたちも工藤さんのことが大好きで、自然と周りに集まっていくほど。現在0歳児担当に戻った私も、**その物腰の柔らかさを日々の保育に取り入れています。**

### 感謝のメッセージ

働きながら4人のお子さんを育て、園でも皆を優しく包み込んでくれる工藤さんに、私たちはいつも助けられてきました。これからも変わらず、皆を癒す存在でいてほしいと願っています。子育てが一段落した暁には、ぜひ一緒に飲みに行きましょう!

## すごいと感じる社員

保育所ちびっこランド福住園 副主任

ふじさき じゅんな  
**藤崎 絢那 さん**

2025年度、3～5歳児と一緒に過ごす大きなお部屋で、初めて藤崎さんと一緒に担任を持ちました。ご自身の考えをしっかりと持ち、より良い保育のために意見を出してくれる頼もしい後輩です。

### 感謝のメッセージ

1年間しか一緒に担任を持つことができなかったため、またいつか同じお部屋で保育できる日を楽しみにしています。そして、4月からは副主任に昇格されました。これからは私の右腕として、一緒に園を盛り上げていってください!

## 藤崎さんのココがすごい!

### フットワークの軽さと柔軟な対応力

私たちが悩むようなことでも、「やってみましょう」と引っ張ってくれる頼もしさがあります。運動遊びなども率先して行い、子どもたちが「藤崎先生と一緒に遊びたい」と大喜びで集まっていくほどです。

### 日々の業務への影響

年齢の異なる子どもたちが一緒に楽しめる遊びを展開する姿には感心するばかりです。やったことのない楽しい遊びを急に提案し、子どもたちの目を輝かせることもしばしば。オンとオフの切り替えもしっかりしており、**その活動量と豊富なアイデアに日々大きな刺激を受けています。**